

討議資料

NORIKAZU SUZUKI ACTIVITY REPORT



TOPICS 01

すずきのりかずと

語る会
〜小泉進次郎対談〜

TOPICS 02

外務大臣政務官
としての活動

TOPICS 03

県内活動の様子



—山形から地方創生—

日本を耕す!

SPECIAL TALK #1

平成をふり返り、
新時代をつくる

2019年5月パレスグラントールにて「すずきのりかずと語る会」が開催され、小泉進次郎氏を招き、対談が行われました。



自由民主党厚生労働部会長
衆議院議員

小泉 進次郎 さん

自民党厚生労働部会長、衆議院議員(4期)。
1981年4月14日、横須賀市生まれ。関東学院大学卒業後、米国コロンビア大学にて政治学修士号を取得。米国戦略国際問題研究所(CSIS)研究員を経て、2009年より衆議院議員を務める。



田植えの
お忙しい時期に
ありがとうございます！

令和になって

鈴木 新しい時代に入ってから初めての会なので、「平成をふり返って新時代をつくる」というテーマでいきたいと思っています。小泉先生、「令和」を何と読みますか？令和になって最初の国会で僕に何と言ったか覚えていますか？

小泉 「時代がきたね」と。なぜか。「のりかず」って読むんです。

鈴木 これは、なかなか自分では言えないですね。

農政をふり返り

鈴木 2015年に小泉さんが農林部会長になり僕に電話を頂いた所からスタートした農林部会長代理。こんなに早く小泉さんと一緒に仕事ができるのは想像していなかったもので、本当に嬉しかったです。部会長になって初めてのエピソード、覚えていますか？農業の用語がわからない問題……。

小泉 そうです、そうです。私、農林部会長になってから必死で勉強したんです。それでもわからない言葉が飛び交っていて、「ケイハン」わかりますか？左か

らも右からも「ケイハン、ケイハン」って。わからないなあ、恥ずかしくて聞けないなあ、と思い必死に考えました。ここは農林部会、農業の世界。農業で「ケイ」、これは鶏に違いない。「ハン」、もちろん「ご飯」。それで、鶏飯の話かと思いついていたら、どう考えても鶏飯じゃないぞと。恥を忍んで「すみません、ケイハンって何ですか？」と聞きました。農業関係者の方は既にわかっているはずですけど、そうじゃない方はわからないはずですよ。そんなエピソードが始まったのが私の農林部会長の歴史で、横で支えてくれていたのが憲和さん。憲和さんがいたから、私は安心していられました。鈴木 ありがとうございます。農業の世界は、農水省にいてもわからない制度が多かったもので、部会長はよく勉強しましたね。すごく尊敬しています。

鈴木 部会長代理の時、PPP採決がありました。対策はしっかりとやっただし、交渉内容は日本にとってそんなに悪くない、守るべきところは守ったなどという印象でしたが、初めての選挙の時にPPP反対と約束した事を、当選後に反故にするのかと



2019.MAY.19.SUN@PALACE GRANDEUR

鈴木憲和 × 小泉進次郎

NORIKAZU SUZUKI SHINJIRO KOIZUMI

すごく悩んで、小泉さんにたくさん相談しました。何時間も色々な想いを話してくれたこと、覚えていますか？

小泉 明確に覚えています。私は自民党の中でもPPP反対派が圧倒的多数の時から、早く参加すべきだと言っていたんです。結果、その時の選挙で農協から推薦をもらえなかった。でもありがたいことに、地元農協は県の思いを超え、自主判断で支援という事にしてくれたんです。その代わり、「横須賀の農家にもPPP反対派の人が大勢いるから、農協に来て演説会をやってくれ。ちゃんと想いを話してくれ」と。それで、農協の皆さんを前に「なぜ私はPPP賛成なのか」という話をしたんです。すると、PPP反対派の人が来て、「あなたはテレビの前で言っている事も、国会で言っている事も、俺たちの前で言っている事も変わらないんだな」「それがよくわかったよ。だから応援する」と言ってくれたんです。立場は私と憲和さん違います。でも、これが政治なんです。政策でぶつかっても、人間同士のぶつかり合いじゃない。大事なのは、その人の筋は

何か。私にとっての筋はそういう筋だったんです。憲和さんの筋は、山形の皆さんを裏切れない。だから、「小泉さんの事を部会長代理で支え、一致した行動を取るべきなのに、小泉さん申し訳ない。これはわかってください」と。私は何度も説得したんです。「これだけ政権が重要視している政策で、党の方針に逆らって行動するのなら、どういう処分があるかわからない。本当によく考えろ」と。それでも曲げ



畦畔とは？

GLOSSARY



畦畔(けいはん)

水田に流入させた用水がもれないよう、水田を囲んで作った盛土等の部分。

SPECIAL TALK #2

インド訪問、
けん玉外交

「小泉さん、これからけん玉よろしく」とプレゼントした、Shinjiro名入りけん玉で技にチャレンジ。



鈴木 去年の八月、小泉さんと一緒にインドに行きました。インド国会の話、良い話なので是非。
小泉 実はほとんど知られていませんが、日本の原爆の日に合わせて、インドの国会では全国会議員が黙祷を捧げてくれていました。こういう事をやってくれる国ってほとんどないんですよ。訪問メンバーに広島県選出の議員もいたので、「そんな事をしていただいて本当にありがとうございます」と表敬に行きました。
鈴木 その時お土産に持っていたのがけん玉です。都会の議員が多く、「お土産どうする？」となったら、地元の工芸品みたいなのがない。「山形は何かあるんじゃないの？」と言われ、なんだろうと思ったらけん玉でした。
小泉 私実はインドの路上でけん玉をやりました。インドの路上でけん玉を披露した国会議員、私だけだと思います。
鈴木 会食でもけん玉をやったんですけど、上手くいかなかったですね。
小泉 それで言われたのが「やつぱり人が見てないと駄目なんだね」と（笑）。
鈴木 という事で、ぜひ山形県けん玉大使に任命していただけたら。僕が外務省の政務官をやりたいと

GFPとは？

GLOSSARY

GFP (Global Farmers Project)

このコミュニティに参加して、輸出の第一歩を！

URL <https://www.gfp1.maff.go.jp/>



▲対談後、けん玉の工房へ行ってきました。

思ったのは、インドの経験があったから。インドの若い国会議員から農業の課題なども伺って、日本はもっと何かできるんじゃないかなと思ったからです。

なかった。そういう男なんです。ありがたいのは、全然立場が違う事をわかっていながら、こういう関係が築ける仲間がいるということ。「こっちから見るとこの問題ってこう見えている」と常に言ってくれる、この間柄が続いているという事が一番伝えたいことですね。これからの未来という想いを忘れず、ぶれずにやっていく中で、国会や党の中で苦労する事があるかもしれない。その時こそ、地元の人形の皆さんには、憲和さんはそういう想いで議員活動をやっているんだと、あたたかく支えていただければと思います。

鈴木 TPPの件で部長代理は外れましたが、2018年に農産物の輸出を党の政策として打ち出して、こうと議論を始めた時、小泉さんが委員長になり、僕が事務局で復帰しました。

小泉 北海道に輸出の視察に行った時の話は、良いエピソードですよ。天候不順で空港に三時間くらい足止めをくらったので、空港ラウンジで緊急会議をやりました。「輸出、輸出」と言うけど、農家の中で輸出に取り組んでいる人は本当に少ない。だったら、やりたい人に手を挙げてもらえばいい。手を挙げた人が支援を受けられる、

登録をした人には全面バックアップをという制度を作ろうじゃないか、というのが空港での議論です。
鈴木 そこで生まれたのが、GFPという、コミュニティを作って支援をしようというプロジェクトです。

小泉 農家の皆さんも、GFPと検索してみてください。「あなたを生産者の日本代表にしたい」と出てきます。ここに登録をしていただくと、輸出をしたい方とどこにJETROや農水省が行きます。輸出の可能性があるか、どの国を狙うか、そのためには何の改善が必要か、そういった輸出診断を無料でやります。間違いなく日本の人口は減ります。国内のマーケットは縮みます。そして、高齢化が進むと一人の食べる量が減るんです。今まで通り作っていたら、日本の中だけでは儲からない。でも、世界では人口が増えます。70億人が100億人になるんです。日本は1億2000万人が今後40年くらいで1億人まで減ります。1億と100億、日本の100倍のマーケットがあるから、「1億人から100億人の農業へ」を合言葉に、この取り組みを始めました。関心がある方は是非やっていただきたいと思っています。



➡ 1.千歳空港ラウンジでの緊急会議。 2.長野県でのGFP署名式。 3.インド国会へ表敬訪問。

SPECIAL TALK #3

新しい時代へ

鈴木 最後に、将来の話をした
いと思います。

小泉 国会改革について、ペー
パレスが動き出したり、女性
議員の妊娠出産時の対応だっ
たり、ようやく議論が一步步始
まりましたが、どうして私がそ
んな事を言っているのかと言
いますと、今の日本の国会とい
うのは異常なんです。こんな国
会は地球上ないんです。どんな
事かという、こんなに総理と
外務大臣が議会に出席しなけ
ばいけない国会は、世界中どこ
にもありません。安倍総理は年
間100日以上日本の国会に
出ています。トランプ大統領は
何日だと思います？1日です。
一般教書演説だけ。フランスの
マクロン大統領、0です。日
本と同じ議院内閣制のイギリス
は30日ぐらいです。これだけ世
界が動いているのに、日本にそ
れだけいいんですかね？
憲和さんの上司の河野外務大

臣、年間何日国会に出ているか。
170日です。私はその数字
を見た時に、これは外務大臣
じゃなくて内務大臣じゃないか
と。中国はあれだけの大国で、
自国の国会は五年に一回です。
それだけ縛られることがなかつ
たら、世界中で自分たちの国の
主張を繰り上げられますよ。日
本は外交こそ命なんです。世界
で仲間をつくる、世界で日本が
不利になるような政策作りをさ
せないこと。そのためには、庭
師が日頃から庭を見て「あそこ
の木がのびちゃったな、ここは
刈り取らなきゃ、そこに問題が
出てきたな、葉を撒こうか」の
ように、常に目を配らなければ
いけないのが日本なのに、それ
をどこの国よりもやらせても
らっていない。こんな現状を放
置したら、これからの時代は乗
り遅れる。だから変えよう。
鈴木 私自身も外務省の政務官
をやっていますが、海外出張に

行く時は国会の承認がいるの
で、なるべく国会がない日に
行って帰ってきてください、と
いう世界です。土曜日の朝に出
て月曜日の夜に帰ってくる、こ
ういう出張ばかりです。良し悪
しはもちろんなありますが、もつ
とゆつくりしつかりと、色々な
国の皆さんに日本の立場を伝え
るという事があっていいのか
なと思います。

小泉 憲和さんの仕事とか、一
緒にやってきた事をお話させ
ていただきましたが、本人は
言えないから、私から言わな
きゃいけないと思うのは、きつ
と、地元の選挙区に戻るのが
難しくなっていると思います。
県連会長だから、自分の選挙
区ばかりやるわけにはいきま
せん。そういう事を地元の皆
さんにはご理解いただきたい。
そして、それこそがちゃんと
仕事をしているのだという評
価を、有権者の皆さんにはし
ていただきたい。もう1つは、
政務官の話もありましたが、
山形にいる事が彼の仕事では
ありません。世界を股にかけ
てやるのが彼の仕事です。な
んでもかんでも国会議員の仕
事だというのは、私は違うと

かりです。

最後に、全国どこに行っても
言われるのが、人口減少と少子
化です。私や憲和さんの世代は、
人口が増えるという前提の国づ
くりをやるつもりはありません。
減るという前提の国づくり
をしようとしています。減ると
嘆いても変わらないので減つ
たてやっていける街づくり、
国づくりを考えようじゃないで
すか。これを機会に、もう人口
減少を嘆かない。それを私は全
国で根付かせたい。もう1つ、
「若い人が街を出て行ってしま
う。東京にばかり行っちゃう。
若い人がこの街に残ってくれる
ように、出て行かないでくれ」
という訴えが、全国で本当に多
いです。ですが、よく考えてく
ださい。その街の事を考えるの
であれば、その街の事しか知ら
ない若者が育つことは、将来的
にその街の利益にはなりません。
むしろ、羽ばたかせてくだ
さい。「この街から出る」と言っ
てあげてください。世界は広い、
日本は広い。けん玉が地元で作
られている事は、日本全国で当
たり前の事ではありません。そ
して、伝統工芸がある事も、当
たり前ではないです。前回の選



思います。なぜ国会議員がい
て、県議会議員がいて、市町
村議会議員がいるのかという
と、それぞれのやる事がある
からです。国全体、世界の事、
その中の日本、それを考える
のが国会議員です。県議会議
員の方は県全体の事を考える。
市町村議会議員のみなさんは、
自分の地元の事を考える。そ
ういう役割分担で国から自治
体までネットワークを持ってい
るのが、自民党という全国
に大きな連合体を背負ってい
る組織です。ですから、この
役割分担をしつかりとさせる
ためにも、どうかこれから地
元で憲和さんを見たら「心配
しないで、世界に行つて来い」
と、「けん玉をやつて来い」と、
そういう事を言つてあげて欲
しいなと私からは切に願うば

挙の時も山形県に来て本当に感
動しました。街を見れば水田が
広がりがとれて、モモもサク
ランボもラ・フランスもブドウ
も肉も、本当に豊かです。そう
いう豊かな食料が普通にある事
も、当たり前の事ではありませ
ん。温泉も同じ事です。でもこ
れがわかるのは、外から見た事
があるからです。これからは是
非、若い人達にどうやつたらよ
り大きな世界を見せてあげられ
るかという育成をしていただき
たい。残った我々世代がやら
なければいけない事は、出て
いった若者たちが戻りたくな
る街づくりをするという事で
す。そして令和の時代は、「人
口が減っても大丈夫、世界を
見ようというその方針で街づ
くり、国づくりをやってくれた
人たちの陰で、人生100
年時代が、人口が減っても豊
かで活力ある日本が築かれて
いるんだな」という想いを持
たれる時代に、全世代それぞ
れが作つていこうじゃないで
すか。ぜひ山形から、そいう
街づくりが始まることを期
待しています。ありがとうございます。

地元の皆へ

平成24年の初当選以来 あっという間の7年間が過ぎようとしています。外務省の政治官としての仕事も含め、世界中で日本は今後どうあるべきか、その中で地元山形の将来をどう持続可能なものにできるのか、日の丸を背負いつつも、地元根差して考え行動する議員であり続けたいと思います。

今回のたがやす通信は、令和の新時代に向けていかに含め自分の思いが伝わるよう編集しましたので是非読んでくだされば幸いです。こうした活動が日々できるのも、地元で応援してくださる一人一人の皆さんあってのことです。今後ともご指導よろしくお願いします。

鈴木 憲和

Profile 鈴木 のりかず プロフィール

鈴木 憲和

南陽市金山在住

生年月日：昭和57年1月30日

家族：妻・息子(2人)

長男が市内幼稚園に通っています。

趣味：テニス・スキー

座右の銘：現場が第一

略歴

平成17年：東京大学法学部卒

平成17年：農林水産省入省

平成24年：衆議院議員初当選

平成26年：衆議院議員2期目当選

平成29年：衆議院議員3期目当選

令和元年8月現在：外務大臣政務官

これまでの主な経歴

●国会(衆議院)

・常任委員会

・農林水産委員会 理事

・国土交通委員会 理事

・特別委員会

・北朝鮮による拉致問題等に関する

特別委員会

●自民党

・農林部会 部会長代理

・水産部会 部会長代理

・山村振興特別委員会 事務局長

・青年局 次長

・自民党山形県支部連合会 会長



2019年8月 発行 (Vol.7)

自由民主党山形県第二選挙区支部 すずきのりかず事務所

議員会館 | 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館416号室
TEL.03-3508-7318 FAX.03-3508-3318

米沢事務所 | 〒992-0012 山形県米沢市金池2-1-11 TEL.0238-26-4260 FAX.0238-26-4293

東根連絡所 | 〒999-3720 東根市さくらんぼ駅前2-10-21 TEL.0237-53-1680 FAX.0237-53-1690

Facebookで活動を毎日更新!
ぜひ「いいね」でご支援ください。

 @suzuki.norikazu.official

公式WEBサイト

<http://suzuki-norikazu.com/>

